

阿部文部科学大臣が視察

TICAD関連イベント「高校生による科学技術WS」

「TICAD9」2日目の21日には、科学技術振興機構(JST)主催の「日本とアフリカの高校生による科学技術ワークショップ」が開かれ、阿部俊子文部科学大臣が視察した。

同イベントは、アフリカと日本の高校生た

ちが多様な切り口から「サステイナブルな食」について意見を出し合うもの。日本からは神奈川県立横浜緑ヶ丘高校の生徒が、アフリカからは「さくらサイエンス・ハイスクールプログラム(SSHP)」で来日したエジプト、南アフリカ、ザンビア、ケニア、ガーナ、ナイジェリアの高校生が参加した。



阿部大臣(前列中央)を囲み笑顔で記念撮影



グループ代表として発表

阿部大臣は、生徒たちのディスカッションや発表を聞き、「日本の共創が、アフリカと日本の相互理解を深め、関係を強化し、将来的な協力関係につながる」と期待している」と英語で話した。最後には記念撮影が行われ、阿部大臣をはじめ生徒らの笑顔で締めくくられた。



意見を出し合う生徒ら

生徒たちはサステイナブルな食に関して、自国特有の食品を紹介しながら、「持続可能な食品と持続可能ではない食品」「持続可能ではない食品を持続可能にするアイデア」等について英語で話し合い、最後に班の代表者が発表した。